

国際会計人材ネットワークの 活動状況

財務会計基準機構（FASB）では、2017年4月にIFRSに関して国際的な場で意見発信できる人材をプールするために「国際会計人材ネットワーク」を構築しており、同ネットワークの登録者は、本年2月1日時点で790名（企業の役員、従業員82名、公認会計士、監査法人勤務者642名、証券アナリスト24名、会計基準設定主体の委員、研究員29名、官庁の行政官12名、学識経験者1名）となっている。

本ネットワークは、未来投資戦略2017で継続的な取組みとされている国際会計人材の育成を推進するため、国際会議の場で活躍している人材との交流や、IFRSの最新動向等について共有する機会を提供している。

本稿では、2018年2月～3月に実施された同ネットワークの活動内容についてご紹介する。

1. 国際会計人材ネットワーク第2回シンポジウム	
• Nick Anderson IASB 理事によるご講演 「基準設定プロセスへの利用者の関与」	18
• パネル・ディスカッション「損益計算書の新しい姿」 (A New Look of the Income Statement)	35
• 交流パーティー	38
2. 国際会計人材ネットワーク第1回定例会	39
3. Nick Anderson IASB 理事及び鷲地隆継 IASB 理事 との会合	41